

## 森林環境教育・水巻町立伊左座小学校、吉田小学校

2017. 6. 6

水巻町の南部に位置する伊左座小学校と吉田小学校の5年生を対象に、夜須高原青少年自然の家にて森林環境教育を実施しました。

30度近い晴天が続いた天候も、この日は曇り空に変わり、即座に梅雨入り宣言となりましたが、雨に降られることもなく、元気に野外活動が実施できました。

森と人との関わりや、森林の大切さを身近に感じてもらおうと「森と土の関係」を寸劇にて披露。芋虫とモグラが登場したあと、スギ、ヒノキ、クスノキの樹々が成長する過程など、それぞれに扮した各インストラクターの迫真の演技で(?)、子供たちの心を一気に引き寄せました。



その後、各班に分かれ様々な「葉っぱ探し」を実施。ハート型の葉、チクチクする葉、フワフワの葉など、触ったり、においを嗅いだり、スケッチをしたり、五感をフルに使って自然との触れ合いを体感して貰いました。

子どもたちの眼は葉っぱのみならず、虫にも興味津々。中でもウジャウジャ群れている「クモの子」に

くぎ付けとなる場面も・・・

植物観察の後は、自然界の「食う食われる」を演出した「コウモリとガ」で盛り上がりました。

動のあとは静・・・静かに「森の音」に耳を傾け、クールダウン。生徒代表2名の振り返りで幕を閉じました。

伊左座、吉田の両校は、元々、下二小学校という一つの学校であったものが人口増加に伴い分かれたもの。親睦を兼ねた両校が自然の中で共通のアクティビティを体験することで、互いの絆がより深まったのではないかと推察いたします。



スタッフ：

戸町、藤井、木村、西岡、溝口、佐藤（政）、陣内、轟、出口、諸石（報告：諸石）